

第 22 回理事会

2月21日 午後5時～7時42分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・田中・山縣・林各常任理事、武藤・沖中・加藤・藤本・香田・今村・中村・清水各理事、山本・武内・藤野各監事

協議事項

- 1 平成 25 年度事業計画(案)について
事業計画案について協議した。
- 2 平成 25 年度予算(案)について
事業計画に基づき、予算編成をした。
- 3 第 128 回日本医師会定例代議員会における質問について
山口県医師会として質問を提出することに決定、質問項目について協議した。
- 4 子宮頸がん予防等 3 ワクチンにおける個別接種標準料金(案)について
平成 25 年 4 月より定期接種に導入予定の 3 ワクチン(子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン)の個別接種料金については、昨年 8 月 23 日の理事会で協議・了承されたため、同年 9 月 6 日開催の郡市妊産婦・乳幼児保健担当理事・関係者合同会議において市町へ提示している。この度、3 ワクチンの予診のみの料金について、子宮頸がん予防ワクチンの算定根拠として高齢者インフルエンザと同様、再診料の考え方で了承された。

人事事項

- 1 社会保険診療報酬支払基金審査委員の推薦について
社会保険診療報酬支払基金山口支部より、診療担当者代表委員の辞任に伴う審査委員の推薦依頼があり、後任委員の推薦について協議し承認された。

報告事項

- 1 山口県動物由来感染症情報関連体制整備検討会第 2 回会合(1月28日)
平成 24 年度の調査結果の報告があった。今年度より各領域に適切な情報を発信するため、報告書の関係配付先等について協議した。(今村)
- 2 個別指導「山口地区」(1月31日)

診療所 10 機関について実施され立ち会った。
(萬、清水)

3 自賠償医療委員会・山口県自動車保険医療連絡協議会(1月31日)

自動車任意保険に付帯される人身傷害補償保険(人傷)の取扱いについて協議を行った。また、当該保険についての取扱いは複雑であるため、理解するための参考資料を本委員会において作成し、会員へ配付することとした。(香田)

4 山口県自動対外式除細動器(AED)普及促進協議会・郡市医師会救急医療担当理事合同会議(1月31日)

平成 24 年度の AED 講習会の開催状況や普及状況、除細動器及び AED の設置状況の調査結果の報告があった。ドクターヘリの運航状況について、山口大学先進救急医療センターの金田先生から報告された。(弘山)

5 山口県母子保健対策協議会(1月31日)

山口県の母子保健の動向、今年度事業の健やか親子やまぐち 21 推進に係る事業概要について説明があり、各専門委員会(不妊相談専門委員会、新生児聴覚検査専門委員会、HTLV-1 母子感染予防専門委員会)から事業報告が行われた。また養育支援を必要とする家庭への支援の取り組みについて協議した。(濱本)

6 独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部広島業務運営委員会(1月31日)

平成 24 年度の災害共済給付業務、学校安全支援業務の実施状況について報告が行われた。(田中)

7 山口県病院協会との懇談会(1月31日)

両会の三役が出席し、診療報酬改定影響度調査結果報告等、近況情勢報告を行った。(河村)

8 第 63 回山口県産業衛生学会・山口県医師会産業医研修会(2月3日)

午前中、教育講演「労働者の健康と食事～産業医として役立つ栄養学～」について山口大学奥田教授、午後から、特別講演 1「最近の労働衛生行政について」と題して山口労働局の山本健康安全課長、特別講演 2「産業保健におけるてんかん社員の対応と注意点」について西川医院発達診療部長・発達障害研究

センター長の林 隆先生の講演が行われた。参加者数 174 名。(山縣)

9 山口県ジェネリック医薬品安心使用促進セミナー(2月3日)

「もっと知りたいくすり(薬)のこと」講師：山口大学大学院医学系研究科(山口県後発医薬品使用促進連絡会議会長)古川裕之教授の基調講演等及びパネルディスカッションが行われた。(林)

10 山口県石油コンビナート等防災本部幹事会

(2月5日)

山口県石油コンビナート等防災計画の修正(案)について審議された。(事務局長)

11 第3回山口大学医学部附属病院医療人育成センター地域医療支援部門会議(2月5日)

平成24年度の活動報告、平成25年度の活動計画について協議した。(弘山、武藤)

12 健康やまぐち21推進協議会「がん対策分科会」

(2月5日)

第2期山口県がん対策推進計画の最終案について協議した。(濱本)

13 「医薬品に関する教育」保健教育指導者研修会(2月6日)

開会式において挨拶を行った。(小田)

14 社会保険診療報酬支払基金山口支部幹事会(2月6日)

突合・縦覧点検における審査実績、審査事務に関する職員の理解度の把握等について報告があった。(小田)

15 日医生殖補助医療法制化検討委員会・母体保護法等に関する検討委員会合同委員会(2月6日)

医系国会議員も出席のもと、生殖補助医療の法制化に関する日本医師会提案(案)について協議した。(藤野)

16 広報委員会(2月7日)

会報主要記事掲載予定(3~4月)、次年度広報事業、tys「スパ特」のテーマ等

について協議した。(林)

17 第3回山口呼吸器フェローシップセミナー研修会(1月19日)

ランチョンセミナー「抗菌薬について」と、「びまん性肺疾患について～間質性肺炎を中心に～」及び「症候～慢性咳嗽、胸水～」のセミナーが行われた。(萬)

18 社保・国保審査委員連絡委員会(2月7日)

6項目の議題について協議した。協議結果は会報25年3月号に掲載。(萬)

19 第2回山口県保険者協議会(2月7日)

平成24年度第2回保健事業部会開催結果の報告及び平成25年度山口県保険者協議会事業計画等について協議が行われた。(弘山)

20 山口県自殺対策連絡協議会(2月7日)

山口県における自殺の現状及び山口県自殺総合対策計画に基づく取り組み状況について報告があり、山口県自殺総合対策改定計画の方向性について協議した。(田中)

21 山口県新型インフルエンザ対策協議会(2月7日)

今年度施行される新型インフルエンザ等特別措置法により、国改定の行動計画に準じることから、県の新型インフルエンザ等対策に係る今後の対応について協議した。(濱本)

22 第4回健康やまぐち21 歯科保健分科会

(2月8日)

「やまぐち歯・口腔の健康づくり推進計画」の最終案について協議した。(山縣)

23 山口県感染管理看護体制強化推進委員会

(2月8日)

感染管理看護体制強化事業(平成23年度から3年間)として、感染管理に関する取り組みについて、感染管理実践研修、感染制御チーム実践支援、感染管理認定看護師フォローアップ研修(公開講座)を行い、看護職員のスキルアップの修得に役立っているという報告があり、今後の感染管理看護の向上に関して協議した。(山縣)

24 勤務医部会市民公開講座「下関」(2月9日)

「下関の救急医療が危ない - 崩壊を防ぐために - 」をテーマに開催された。AED 講習実演会、下関市の救急の現状報告の後、熊本大学医学部附属病院救急・総合診療部教授の笠岡俊志先生による特別講演「救急医療の現状と課題」が行われた。(加藤)

25 日医医療情報システム協議会(2月9~10日)

「IT で紡ぐ医療連携」をメインテーマに2日間にわたって開催された。9日は、主催者及び運営委員会委員長の挨拶後、シンポジウム「医師会データの保存管理の在り方について」、シンポジウム「ORCA と認証局」が行われた。10日は、シンポジウム「レセプトデータの行方」、シンポジウム「医療連携について」が行われた。シンポジウムでは、基調講演と事例報告の後に石川常任理事が総括を行った。次回担当県は、兵庫県医師会。(藤本)

26 体験学習「山口大学：泌尿器科」(2月10日)

山口大学医学部及び山口大学医師会の協力を得て、「日常診療でしばしば遭遇する血尿、排尿異常、尿漏れ」をテーマに体験学習を行った。(清水)

27 山口県緩和ケア医師研修会(2月10~11日)

平成24年度第2回目を実施。参加受講者15名。(香田)

28 日医医事法関係検討委員会(2月13日)

「医療基本法(仮称)制定に向けた医事法制の検討」について協議が行われた。(林)

29 山口県医療扶助審査会(2月13日)

生活保護費の動向等についての説明及び審査案件8件の報告が行われた。(河村)

30 山口県公害審査会(2月13日)

公害紛争処理制度の説明後、会長及び会長代理の指名について審議した。(今村)

31 個別指導「新規」(2月14日)

病院1機関、診療所6機関について実施され立ち会った。(萬、田中、清水)

32 診療情報提供推進委員会（2月14日）

平成24年(1月～12月)、山口県医師会に寄せられた64件の相談窓口受付事例について報告及び協議を行った。(林)

33 第115回地域医療計画委員会（2月14日）

平成24年度の地域医療連携体制調査(精神疾患・在宅医療の医療機能調査)について報告し、現在圏域間の確認中の報告を行った。県担当室より第6次山口県保健医療計画(案)について概要説明があり、5疾病5事業及び在宅医療の数値目標等について協議した。中国地方5県ドクターヘリの広域連携について基本協定締結の報告があった。(弘山)

34 下関地区糖尿病診療研修会・症例検討会（2月14日）

地域医療再生基金による医療連携機関ネットワーク促進事業研修会(顔の見える関係づくり)として、5疾病5事業及び在宅医療等をテーマとする研修会を実施する。今年度は下関地区、周南地区、宇部・小野田地区を予定しており、そのうちの下関での開催で参加者43名。(弘山)

35 三師会懇談会（2月14日）

山口県地域振興部観光交流局観光振興課の佐田課長による「山口県の観光振興」の講話後、医師会、歯科医師会、薬剤師会の最近の情勢について意見交換を行った。(河村)

36 第3回シンポジウム「会員の倫理・資質向上をめざして」- ケーススタディから学ぶ医の倫理 -（2月14日）

小林弘幸順天堂大学医学部附属順天堂医院教授による基調講演「会員の倫理・資質向上をめざして ケーススタディから学ぶ医の倫理」の後、ケーススタディ 討論の課題と進め方、グループによる議論、グループからの発表および全体討議)が行われた。グループ内で司会進行、全体会議で報告を行った。(香田)

37 第3回健康やまぐち21推進協議会（2月14日）

健康やまぐち21計画(第2次)(最終案)、第2期山口県がん対策推進計画(最終案)、やまぐち歯・口腔の健康づくり推進計画(最終案)について協議した。(濱本)

38 日医総研シンポジウム（2月15日）

「先端医療と遺伝子情報～そして人権の未来」をテーマに、(1)幹細胞研究の進歩と新しい医療(中内啓光東京大学医科学研究所幹細胞治療研究センター長/幹細胞治療分野教授)、(2)先端医療 3つの課題(樋口範雄東京大学大学院法学政治学研究科教授)、(3)IPS細胞と日本の生命倫理(町野 朔上智大学生命倫理研究所教授)の講演が行われた。その後、講師と高久日本医学会長をパネリストに、「先端医療と遺伝子情報」をテーマとしたパネルディスカッションが行われた。(中村)

39 第3回禁煙推進委員会(2月16日)

県内で開催される世界禁煙デー(5月31日)及び禁煙週間(5月31日～6月6日)の関連イベントについて全県的に連携を行うことになった。会員への喫煙調査の調査方法及び行動指針(案)について協議した。(山縣)

40 男女共同参画部会第4回理事会(2月16日)

今年度の総会運営、各ワーキング・グループからの報告と検討事項について協議した。(今村)

41 第127回生涯研修セミナー(2月17日)

ミニレクチャーとして、山口大学大学院神経内科学分野助教の清水文崇先生による「筋炎の診断と治療」、山口大学大学院消化器病態内科学分野助教の橋本真一先生による「小腸疾患診療の最前線」、特別講演として広島国際大学看護学部成人看護学・内科学教授の島谷智彦先生による「いま、胃食道逆流症の治療を考える」が行われた。参加者114名。(沖中、加藤)

42 山口県医師会勤務医部会総会・パネルディスカッション(2月17日)

総会では、24年度事業報告、25年度事業に対する要望について審議した。その後、「TPPと医療をめぐる論点整理と医療改革の方向」をテーマに基調講演とパネルディスカッションが行われた。参加者80名。(中村)

43 日医母子保健講習会(2月17日)

メインテーマ「子ども支援日本医師会宣言の実現を目指して-7」で開催。午前中は、「出生前診断と新生児スクリーニングについて」(平原史樹横浜市立大学附属病院長)、「生殖補助医療について」(吉村泰典慶應義塾大学医学部産婦人科教授)の講演、午後からは、小児保健法について「小児保健法をめぐって」のテーマでシンポジウムが行われた。(濱本、山縣、今村)

44 山口県へき地医療専門調査会（2月18日）

第6次山口県保健医療計画におけるへき地医療対策、へき地医療協力医療機関制度の創設や離島における医療提供体制、山口県総合医育成指導者養成プロジェクト等について協議した。（弘山）

45 第5回山口刑務所視察委員会（2月18日）

提案箱投函の事案について協議後、視察委員会の要望聴取、平成24年度の総まとめについて協議した。（萬）

46 社会保険診療報酬支払基金河内山理事長との懇談会（2月19日）

最近の情勢について意見交換を行った。（萬）

47 会員の入退会異動

入会6件、退会8件、異動13件。（2月1日現在会員数：1号1,301名、2号954名、3号440名、合計2,695名）

医師国保理事会 第18回

1 山口県国民健康保険団体連合会第2回理事会について（2月8日）

2月21日開催の通常総会に提出する、平成25年度予算等の議案について協議した。（小田）

2 全医連第45回臨時理事会について（2月12日）

現在、東京都医師国保組合内にある全医連事務局について、事務室や職員等のあり方について協議した。（小田）

3 傷病手当金支給申請について

1件について協議、承認。